



# 市整会

# 会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.71

2023年7月20日発行

医療法人 孝瑛会

西沢整形外科クリニック

〒599-8114 堺市東区日置荘西町1-15-23

TEL072-288-2001 FAX072-288-2002

## 巻頭言

市整会 副会長 増田 博 (昭和57年入局)

3年間以上にわたって蔓延したコロナは医療経営に大きな影響を与えたと思いますが、会員の先生方のところではどのような影響があったのでしょうか？

当院でもコロナが広がり始めた時期に来院される患者様がかなり少なくなり、3年前の4月5月6月は従業員に休業要請をして政府から雇用調整助成金なる補助金をいただきました。3年たち、今年の5月8日にやっと感染法上の位置づけが2類相当から5類に変更となりましたが、来院患者数は3年前に戻ったかというとはなっていない。もちろん、近くに新しい医療機関ができたりして患者様の流れが変わったとか、いろいろな理由があるかもしれませんが、まだ来院患者数はコロナ前の8割から9割ほどです。

5類に変わったからと言ってコロナがなくなったわけでもなく、また感染が、少しずつ広がっているようにも報道されています。皆様はコロナ前の生活にもどることができていますでしょうか？

僕自身はすっかりマスク生活に慣れてしまっていて、出かけるときにマスクをしていないと何か違和感を感じるようになってしまいました。人ごみの中に行くのは控えるようになってしまったし、よく行っていたカラオケにも3年前から行っていません。

いろいろな講演会もweb講演会からハイブリッド講演会になり、最近やっと対面で行うことが増えてきて、情報交換会も少しずつ開催されるよう

になってきましたが、まだ飲みに行ったりする機会が減っています。なかなかコロナ前の生活に戻ることは難しいと思います。

本年5月27日に市整会総会が開催されました。西澤会長のお声がけで新しい若い3人の理事が加わることになりました。理事の高齢化が進む中、喜ばしいことと思います。総会のあとの懇親会で若い先生にいろいろと話を聞かせてもらおうと、診療所に対する考え方が私の時代とずいぶん違うことに気がつきました。私の時代は小さい規模の診療所から少しずつ大きくしていったのに、最近開業される先生方は、開業の最初から理学療法士を何人も雇って、広い理学療法室を持って行う経営方法にびっくりしました。私の時代とは違う考え方とか経営方針で若い先生が開業を始めているのを聞いて、自分の経営方針を見直すのに良い刺激をもらいました。

さて、睡眠は大事と言われていますが、皆様はいつもどれくらいの時間寝ているのでしょうか？6時間？7時間？それとも8時間？私は大体6時間くらいです。統計では日本人の睡眠時間は世界の他の国と比べると、少ないそうです。2021年経済開発機構(OECD)の調査で33カ国中日本人の平均睡眠時間は7時間22分と最短だったそうです。男性より女性が13分短いそうです。また2021年の世界睡眠ホワイトペーパーでは日本の睡眠時間はワースト2位で6時間44分ともいわれています。ここでも日本人の勤勉さが出ているようで

す。私はもっと睡眠時間を取りたいと思っていますが、日々の診療に追われてなかなか難しいですね。それと休みの日の寝だめはあまり体に良くないらしいです。例えばいつも12時に寝て、6時に起きる方が、休みの日に12時から9時まで寝るとしたら、睡眠の中心が3時から4時半にずれるのでよくないらしいです。睡眠時間を前後に広げることがポイントらしくて、10時半に寝て7時半に起きることにして9時間寝たほうが睡眠のリズムを壊さなくて良いらしいです。睡眠不足というのは体の平均的なパフォーマンスを維持するのに必要な睡眠時間を下回っている状態だそうです。成

人は最低でも7時間の睡眠が必要で、睡眠不足は心血管疾患、糖尿病、精神疾患などの健康問題につながるそうです。

皆様は昼間、眠気を感じることはないでしょうか？私は、毎日眠くて眠くて昼間の時間帯に会議等があれば、すぐにうとうととしてしまうし、診察中でも、患者様が途切れると眠くなってしまいます。眠気と戦って日々の診療をこなすだけになっていますが、できれば睡眠をいっぱい取って、昼間は眠くならず、新しい考え方、発想、アイデアを次々と出して、もっともっと診療所のこと将来のことを考えていけたらと思っています。



# 令和5年度 市整会 総会

日時：令和5年5月27日（土） 総会16：00～ 講演会17：30～

場所：TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋 カンファレンスルーム3B

会員 192名中 参加者 23人、委任状 94人、名誉理事の先生で未返信 32人…合計149名で総会成立

当日参加者：24名

西澤 徹	天野 祐一	増田 博	馬野 隆信	竹中 稔幸	鳴嶋 真人
秋野 一男	斧出 安弘	柳井 尚浩	宮内 晃	伊藤 智康	湊 康行
恵木 丈	木下 裕介	森川献志漢	袴 史明	小竹 志郎	前野 考史
小阪 寿憲	信貴 政人	久保 卓也	曾我部祐輔	福嶋 宏隆	山部 孝弘

## 議 題

### 報告事項

- 1、会員の動向について（森川）
- 2、令和4年度事業報告（森川）
- 3、令和4年度会計報告（伊藤）
- 4、その他の報告事項

### 協議事項

- 1、令和5年度事業計画（森川）
- 2、令和5年度予算案（伊藤）
- 3、その他の協議事項

総会の成立について（森川）

会員 192名中 参加者 23人、委任状 94人、名誉理事の先生で未返信 32人…合計149名で総会成立

### 報告事項

- 1、会員の動向について（森川）

名誉会員（5名）

鳴嶋真人先生（入局：昭和54年；誕生日：S27.6.7）  
西上茂樹先生（入局：昭和54年；誕生日：S27.5.22）  
飯田伊佐男先生（入局：昭和54年；誕生日：S27.11.13）  
佐藤哲也先生（入局：昭和54年；誕生日：S27.7.12）  
大草良夫先生（入局：昭和54年；誕生日：S27.7.29）

死亡退会者の御報告（1名）

小野興三郎先生（昭和46年入局）が、2月20日ご逝去

閉院（1名）

増田宗義先生（昭和54年入局）

令和5年1月20日をもって閉院（一身上のご都合で）（市整会名簿には名を残しメーカーからの連絡用名簿は削除）

退会（3名）

柴田敏弥先生（平成2年入局）

令和4年末で久米田整形を退職

米田昌弘先生（平成11年入局）

2022年12月で、クリニック閉院

〒590-0026 大阪府堺市堺区向陵西町4-11-15 三国ヶ丘駅前ビル1階

Tel：072-233-3131 Fax：072-233-6161

小川寛之進先生（昭和60年入局）

2022年12月27日 閉院（市整会名簿には名を残しメーカーからの連絡用名簿は削除）

移転（1名）

片岡威博先生（平成14年）

片岡屋なにわのみやクリニック

〒542-0062大阪市中央区上本町西1-5-8

Tel：06-6765-5155 Fax：06-6765-5156

勤務先変更（1名）

金川雅洋先生（昭和50年入局）

神戸市東灘区本山南町8-6-26 本山坂井瑠実クリニック

→〒658-0046 神戸市東灘区御影本町2-11-10 坂井瑠実クリニック

住所変更（2名）

楠 正敬先生（昭和48年入局）

〒583-0864 羽曳野市羽曳ヶ丘8-4-5

田中直史先生（昭和56年入局）

〒586-0018 河内長野市千代田南町8-38

メールアドレスの変更（1名）

伊藤陽一先生（平成3年入局）

yito@omu.ac.jp に変更（公立大学法人の発足に伴い）

新入会（5名+3名）

信貴政人（しぎ まさと）先生（平成25年入局）平成23年高知医大卒

医療法人想千 そうせん整形外科クリニック

〒537-0012 大阪市東成区大今里3-20-27Aria今里駅前ビル3階

Tel：06-6753-8751 Fax：06-6753-8752

前野考史先生（平成13年入局）産業医科大学卒  
医療法人前野整形外科クリニック  
〒574-0026 大阪府大東市住道2丁目7-15 森本ビル2F  
Tel：072-875-3670 Fax：072-875-6038

曾我部祐輔先生（平成27年入局）鳥取大卒  
三国ゆう整形外科  
〒532-0033 大阪市淀川区新高3丁目6-17 2F  
Tel：06-6396-1374 Fax：06-6396-1375

富田益広先生（平成7年入局）浜松医大卒  
香里園とみた整形外科リウマチクリニック  
〒572-0084 大阪府寝屋川市香里南之町28-18エム・ケイ5香里園駅前ビル2F  
Tel：072-812-3333 Fax：072-812-3300  
<http://tomita-ortho.com>

阿波康成先生（平成25年入局）  
医療法人想千 あわ整形外科クリニック  
〒550-0013 大阪市西区新町4丁目6番23号阪急OASISモール2F  
Tel：06-6535-9550 Fax：06-6535-9551

福嶋宏隆先生（平成29年入局）…4月に開業され来年度の総会にて再度、御紹介させていただきます。  
ふくしま整形外科クリニック  
〒540-0025 大阪府大阪市中央区徳井町1-1-8 大手前NTビル3・4F  
Tel：06-6945-2940 <https://fukushima-cl.jp/doctor/>

小阪寿憲先生（平成14年入局）…4月に開業され来年度の総会にて再度、御紹介させていただきます。  
医療法人桂礼会 小阪医院  
〒577-0802 東大阪市小阪本町1丁目9番13号  
Tel：06-6722-5311 Fax：06-6722-5699

山部孝弘先生…来年度の総会にて再度、御紹介させていただきます。  
やまべ整形外科  
〒598-0012 大阪府泉佐野市高松東1-7-31  
Tel：072-464-1026

## 2、令和4年度事業報告（森川）

R4.4.15(金) 諮問委員会 (ZOOMでWEB開催)

R4.4.23(土) 令和3年度後期理事会・市整会フォーラム（講演会のみ共催：久光製薬）  
講演会のみ、情報交換会は無し  
TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前  
17：00～（フォーラム）、18：00～（講演会）  
理事総数60名、委任状38通（名誉会員9名、会員26名）、参加者：13名…理事会成立

学術講演：「正直TKA、過去・現在&未来」 座長：西澤 徹

演者：阪和第二泉北病院 阪和人工関節センター センター総長 格谷義徳先生

R4.05.07(土)市整会50周年記念式典 第1回準備委員会

R4.05.21(土)市整会 総会 (講演会のみ共催：科研製薬) 16：00～総会、17：00～講演会  
出席者 12名、名誉理事 58名(内、委任状25通) 委任状 77枚、会員 187名…総会成立  
淀屋橋KAKENビル 6階 大阪市中央区伏見町3-3-8 Tel：06-6231-8888  
演題名：「白色家兎の軟骨欠損に対する多血小板フィブリン (PRF) シートとマイ  
クロフラクチャーを組み合わせた治療の組織学的検討」 座長：小竹志郎  
演者：大阪公立大学大学院 医学研究科 整形外科学 木下拓也先生

R4.06.11(土)学術講演会の前に 市整会50周年記念第2回準備委員会  
ANAクラウンプラザホテル4F「高砂の間」 15：00～

R4.06.11(土)学術講演会 共催：旭化成 16：00～19：30

ANAクラウンプラザホテル

参加：53名(市整会員36名・同門会員2名・それ以外15名(演者3名含む))

学術講演1：「終末期医療における「医療が無力なとき」の医師の役割」

座長：小竹志郎

演者：医療法人みのり会おかやま在宅クリニック 院長 岡山容子先生

学術講演2：「最新の関節リウマチ治療～生物学的製剤からJAK阻害薬まで～」

座長：増田 博

演者：大阪はびきの医療センター 副院長 アレルギー・リウマチ内科

緒方 篤先生

学術講演3：「重度骨粗鬆症の診断と治療」 座長：大川得太郎

演者：東京大学大学院医学系研究科 整形外科学 准教授

骨粗鬆症センター センター長 齋藤 琢先生

R4.06.26(日)スケルトンゴルフコンペ 天野山ゴルフクラブ

8：00～ 参加22名

R4.07.02(土)第3回市整会50周年記念 準備委員会 (ZOOMにて開催)

R4.09.03(土)第4回市整会50周年記念 準備委員会 (ZOOMにて開催)

R4.09.10(土)令和4年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催：帝人ファーマ

会場：TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋 バンケット3A 16：00～19：00

出席者 14名、名誉理事 16名(内、委任状4通) 委任状 17通、理事総数 59名

…理事会成立

フォーラム参加者：19名

学術講演：「骨粗鬆症の薬物療法と椎体骨折への対応」 座長：増田 博

演者：大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 高橋真治先生

情報交換会はなし(フォーラム終了後、新入会の先生方と座談会)

R4.09.17(土) 第5回市整会50周年記念 準備委員会

R4.10. (土)「『これからの整形外科のかたち』を考える会」(健保介護診療担当勉強会)  
コロナの情報発信を行うことで、本年度は中止

R4.10.02(日)市整会50周年記念式典

17:30~

ザ・リッツ・カールトン大阪 2階 ザ・グランド・ボールルーム

参加人数 95名(会員 45名、御家族 44名、未就学児 6名)

R4.11.05(土)市整会学術文化講演会 共催:日本臓器製薬

オービック御堂筋ビル 2F オービックホール 17:00~

出席者:会員33名、同門4名、非会員(演者含む)10名、ご家族10名

学術講演:「外来診療に役立つ手関節・手指外傷の治療の実際—保存療法から手術療法まで—」 座長:竹中稔幸

演者:北摂総合病院 整形外科 手外科センター長 植田直樹先生

文化講演:「地学を学んで揺れる大地を賢く生きる—南海トラフ巨大地震と富士山噴火に備える—」 座長:西澤 徹

演者:京都大学名誉教授・京都大学レジリエンス実践ユニット特任教授

鎌田浩毅先生

R4.11. (日)家族会 ⇒50周年式典開催にあたり今年は中止

R4.12.09(金)諮問委員会 (ZOOMにてWEB開催)

R4.12.11(日)市整会ゴルフコンペ 天野山カントリークラブ 3組10名の参加

R5.01.28(土)市整会新年会 ⇒ コロナの感染拡大で、互礼会も検討したが中止

R5.03.11(土)学術講演会 16:00~ 共催:久光製薬

シティプラザ大阪(〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-31 Tel:06-6947-7702)

【参加者】30名(演者含む)(市整会会員21名、同門3名、非会員6名)

学術講演:「整形外科領域における医工連携の試みとおさえておきたい運動器疼痛診療のポイント」 座長:小竹志郎

演者:大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学・総合医学教育学

准教授 豊田宏光先生

学術講演:「整形外科外来におけるフットケア・足病診療」 座長:増田 博

演者:南和広域医療企業団 五條病院 整形外科 部長 門野邦彦先生

病院紹介:府中病院 副院長 地域連携部長 家口 尚先生

辻外科リハビリテーション病院 副院長 中土 保先生

### 3、その他の報告事項

1) 来年度より名簿の記載を大阪市立大学附属病院から大阪公立大学医学部附属病院とさせていただきます。

尚、市整会の名称は、時期尚早と考え、このままで数年間行かせて頂きます。

2) 3月の市整会学術講演会での共催を小野薬品/ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社がやって下さっていましたが、今季限りで共催を降りられる事となりました。そこで今後はどのようなかですが、他のメーカーの協賛を打診したところ、久光製薬にお願いすることになりました。従って、「市整会フォーラム」は自前開催とし「これからの整形外科のかたちを考える会」は一時休止、もしくは要望があれば安価な会場にて自前開催を今後検討して行く事となりました。

3) その他の報告事項は有りませんでした。

### 3、令和4年度会計報告（伊藤）

#### 協議事項

##### 1、令和5年度事業計画（森川）

R5.04.14(金) 令和4年度後期諮問委員会（ZOOMにて開催）

R5.04.22(土) 令和4年度後期理事会 講演会のみ共催：久光製薬（ZOOMにて開催）

理事59名中 参加者 12人、委任状 23人、名誉理事の先生で未返信 10人

…合計45名で理事会成立

R5.05.27(土) 市整会 総会 講演会のみ共催：科研製薬

会場：TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋 カンファレンスルーム 3B

総会開始：16：00～ アルツ製品紹介：17：00～17：15

特別講演：17：30～18：10

講演：「骨髄液注入腱を用いた半月板再建術の開発」 座長：宮内 晃

演者：大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 飯田 健先生

R5.06.10(土) 学術講演会 共催：旭化成ファーマー 16：00～

ANAクラウンプラザホテル大阪 4階平安

(大阪市北区堂島浜1-3-1 Tel：06-6347-1112)

学術講演Ⅰ『上肢疾患に対する低侵襲治療—鏡視下手術を中心に—』

座長：恵木丈先生

演者：大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 准教授 岡田充弘先生

学術講演Ⅱ『リウマチ足変形の治療オプション：疼痛・感染対策から機能再建まで』

座長：竹中稔幸先生

演者：大阪南医療センター 骨・運動器疾患センター部長 平尾 眞先生

学術講演Ⅲ『骨粗鬆症の薬物治療—骨形成促進薬の適応と効果を中心に—』

座長：袴 史明先生

演者：慶友整形外科病院 骨関節疾患センター センター長 岩本 潤先生

R5.06.11(日) スケルトンゴルフコンペ 天野山ゴルフクラブ  
8組32人 24名の参加

R5.09.09(土) 令和5年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催：帝人ファーマ  
TKPガーデンシティ心斎橋南船場  
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-shinsaibashi-minamisenba/access/>  
演題：『腰曲がりと骨粗鬆症性椎体骨折—大公大脊椎臨床研究を含めた話題提供—』  
座長：未定  
演者：星野雅俊先生（大阪市立総合医療センター 整形医副部長）  
情報交換会は、無しの方針です。

R5.11.04(土) 文化講演会

R5.11.19(日) 家族会

## 2、令和5年度予算案（伊藤）

## 3、その他の協議事項

### 1) 理事会改革

昨今委任状の返送率が低下し出席者も少なくなり、理事会の開催そのものが危ぶまれる事態となり、また諮問委員会の追認機関となってきている。市整会100年へ向け活動性の高い理事会を構築すべく理事会改革を行うことを諮問委員会で決定しました。前回と前々回の理事会にて広くご意見を頂いたところ、以下の方針となっておりますが総会にて承認を頂きたいと思えます。

3人の先生方の（袴史明、水沢慶一、恵木丈先生）を理事に追加となりました。定款に沿って西澤会長が新理事の案を今後作り、来年の総会にて新理事体制を構築していく。その際に返信の無い先生方は、個々の諸事情が有ると考え、退任して頂き、この先継続していく為にも市整会理事の若返りを図り刷新していく事を協議したところ、総会で了承されました。（名誉理事の先生は残留して頂く）

定款 第4章 役員 （抜粋資料）

第5条 この会には次の役員をおく。（3）理事 必要員数

第6条 役員を選出 1、理事および監事は総会において選出する。

第8条 1、役員任期は2年（4月1日から始まる）とする。但し重任を妨げない。

2) 楯憲一郎先生が監査役を今年度で退任の希望が有りました。その後任に柳井尚浩先生（平成57年入局）が適任かと考え了承して下さいました。尚、今年度の会計監査は楯先生と安田浩成先生がして下さいます。

3) 東和薬品（エディロール錠）に、講演会のバックアップをして頂けるか打診してみる。その際、西澤会長・増田副会長が定款を担当者に見せて確約が取れ次第、講演会参加費は市整会に他協賛メーカーさん同様に頂戴する事を伝える方針とした。

4) その他の協議事項は有りませんでした。

# 令和5年度 市整会役員

会 長	西澤 徹						
副会長	増田 博	馬野 隆信	竹中 稔幸				
会 計	伊藤 智康						
総 務	森川献志漢						
名誉会長	吉中 正好	長田 明	南平 克積	鳴嶋 真人	天野 祐一		
顧 問	黒田 晃司	楯 憲一郎	前野 岳敏				
議 長	鳴嶋 真人						
副議長	斧出 安弘						
監 事	安田 浩成	柳井 尚浩					
理 事	石崎 嘉昭	中野 博友	奥田 好彦	近藤 正樹	楠 正敬	吉田研二郎	
	林 正樹	西上 茂樹	鳴嶋 真人	和田 健志	佐藤 哲也	中村 薫	
	宮脇 裕二	斧出 安弘	田中 直史	秋野 一男	天野 祐一	増田 博	
	寺川 文彦	柳井 尚浩	馬野 隆信	柴田 和弥	阪本 博史	金井 秀彰	
	長濱 信一	高山 優	古瀬 洋一	黒澤 克也	宮内 晃	山下 豊	
	調子 和則	西澤 徹	竹中 稔幸	大川得太郎	伊藤 智康	小堀 肇彦	
	岩城 啓好	桑野 吉浩	恵木 丈	日下 昌浩	木下 裕介	鱧永 浩	
	姜 良勲	袴 史明	森川献志漢	越宗 勝	水沢 慶一	小竹 志郎	
	明石 健一	妻鹿 良平	高尾 泰広				

## 役員職務分掌

福利厚生担当副会長	馬野 隆信				
福利厚生担当理事	天野 祐一	長濱 信一	和田 建志	田中 直史	秋野 一男
	高山 優	金井 秀彰	大川得太郎	木下 裕介	小竹 志郎
学術並びに健保介護診療担当副会長	増田 博				
学術担当理事	宮内 晃	西上 茂樹	佐藤 哲也	竹中 稔幸	岩城 啓好
	恵木 丈	袴 史明	水沢 慶一	小竹 志郎	明石 健一
健保介護診療担当理事	馬野 隆信	佐藤 哲也	秋野 一男	大川得太郎	小竹 志郎
	日下 昌浩				
総務・広報並びにIT委員会担当副会長	竹中 稔幸				
総務担当理事	森川献志漢	阪本 博史	日下 昌浩		
広報担当理事	宮脇 裕二	天野 祐一	山下 豊	小堀 肇彦	鱧永 浩
	越宗 勝	木下 裕介	妻鹿 良平	姜 良勲	高尾 泰広
IT委員会	森川献志漢	宮脇 裕二	斧出 安弘	高山 優	調子 和則
	木下 裕介	小竹 志郎	明石 健一		
諮問委員会	西澤 徹	天野 祐一	増田 博	馬野 隆信	鳴嶋 真人
	安田 浩成	宮脇 裕二	斧出 安弘	宮内 晃	竹中 稔幸
	大川得太郎	伊藤 智康	木下 裕介	森川献志漢	小竹 志郎

# 市整会 令和4年度収支決算書・令和5年度予算書

## 令和4年度収支計算書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

### 1. 収入の部

科目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	増減
<b>第1款 会費収入</b>			
第1項 本会費	¥4,770,000	¥4,530,000	¥-240,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,770,000	¥4,530,000	¥-240,000
<b>第2款 雑収入</b>			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥100	¥70	¥-30
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥100,000	¥362,000	¥262,000
小計	¥100,100	¥362,070	¥261,970
<b>当期収入合計</b>	<b>¥4,870,100</b>	<b>¥4,892,070</b>	<b>¥21,970</b>
繰越金	¥7,967,014	¥7,967,014	¥0
<b>合計</b>	<b>¥12,837,114</b>	<b>¥12,859,084</b>	<b>¥21,970</b>

### 2. 支出の部

科目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	増減
<b>第1款 事務費</b>			
第1項 通信費	¥100,000	¥161,707	¥61,707
第2項 事務用品費	¥10,000	¥1,356	¥-8,644
第3項 渉外費	¥100,000	¥0	¥-100,000
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥250,000	¥203,063	¥-46,937
<b>第2款 各部活動費</b>			
第1項 総務部	¥1,200,000	¥507,524	¥-692,476
第2項 学術部	¥1,000,000	¥1,232,970	¥232,970
第3項 福利厚生部	¥250,000	¥197,303	¥-52,697
第4項 広報部	¥400,000	¥447,700	¥47,700
第5項 税務部	¥10,000	¥0	¥-10,000
第6項 雑費	¥10,000	¥11,440	¥1,440
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 50周年記念事業費	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥4,270,000	¥3,796,937	¥-473,063
<b>第3款 慶弔費</b>	¥350,000	¥164,000	¥-186,000
<b>第4款 予備費</b>	¥7,967,114		
<b>当期支出合計</b>	<b>¥12,837,114</b>	<b>¥4,164,000</b>	
次期繰越金		¥8,695,084	
<b>合計</b>	<b>¥12,837,114</b>	<b>¥12,859,084</b>	<b>¥21,970</b>

# 内 訳

## 1. 収入の部

年会費収入	151/189名（閉院29名、未納9名）他 ※1、※2 ※1 前年度分を当年度に入金 1名（¥27,000×1） ※2 前年度二重徴収返金 1名（¥-27,000×1） ¥30,000×（189-29-9）+¥27,000×1-¥27,000×1	=	¥4,530,000
利息	医師信用組合 三井住友銀行		¥33 ¥37
その他の収入	学術講演会等参加費等		¥362,000

## 2. 支出の部

### 事務費

第1項 通信費	FAXネット・ネットバンキング・郵送（封筒含）等	¥161,707
第2項 事務用品費	香典袋・封筒	¥1,356
第3項 渉外費		¥0
第4項 事務弁償費	総務 会計	¥20,000 ¥20,000

### 各部活動費

第1項 総務部	諮問委員会、理事会、ZOOM会議（年契約¥22,110×1年分） 懇親会費（情報交換会） 表彰状代 名簿印刷＋送料 ホームページ関連	¥138,797 ¥74,285 ¥10,476 ¥61,006 ¥222,960
第2項 学術部	文化講演会講師料 大学医局出張費援助金 日整会単位認定事務費等（2020/3/14～9講演分）	¥340,000 ¥800,000 ¥92,970
第3項 福利厚生部	ゴルフ景品代等	¥197,303
第4項 広報部	会報印刷代等	¥447,700
第6項 雑費	振込手数料等 残高証明書手数料	¥9,020 ¥2,420

慶弔費	祝花・供花代、香典等	¥164,000
-----	------------	----------

# 令和5年度予算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

## 1. 収入の部

科目	令和4年度予算額	令和5年度予算額	増減
<b>第1款 会費収入</b>			
第1項 本会費	¥4,770,000	¥4,830,000	¥60,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,770,000	¥4,830,000	¥60,000
<b>第2款 雑収入</b>			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥100	¥100	¥0
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥100,000	¥350,000	¥250,000
小計	¥100,100	¥350,100	¥250,000
<b>当期収入合計</b>	<b>¥4,870,100</b>	<b>¥5,180,100</b>	<b>¥310,000</b>
前期繰越金	¥7,967,014	¥8,695,084	¥728,070
<b>合計</b>	<b>¥12,837,114</b>	<b>¥13,875,184</b>	<b>¥1,038,070</b>

## 2. 支出の部

科目	令和4年度予算額	令和5年度予算額	増減
<b>第1款 事務費</b>			
第1項 通信費	¥100,000	¥100,000	¥0
第2項 事務用品費	¥10,000	¥10,000	¥0
第3項 渉外費	¥100,000	¥100,000	¥0
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥250,000	¥250,000	¥0
<b>第2款 各部活動費</b>			¥0
第1項 総務部	¥1,200,000	¥1,100,000	¥-100,000
第2項 学術部	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
第3項 福利厚生部	¥250,000	¥650,000	¥400,000
第4項 広報部	¥400,000	¥400,000	¥0
第5項 税務部	¥10,000	¥10,000	¥0
第6項 雑費	¥10,000	¥10,000	¥0
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 55周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥4,270,000	¥4,570,000	¥300,000
<b>第3款 慶弔費</b>	¥350,000	¥350,000	¥0
<b>当期支出(第1~3款)合計</b>	<b>¥4,870,000</b>	<b>¥5,170,000</b>	<b>¥300,000</b>
<b>第4款 予備費</b>	<b>¥7,967,114</b>	<b>¥8,705,184</b>	<b>¥738,070</b>
<b>合計</b>	<b>¥12,837,114</b>	<b>¥13,875,184</b>	<b>¥1,038,070</b>

## 市整会資産(令和5年3月31日現在)

	R4.3.31時点	入金	利息	R5.3.31現在	増減
医師信用組合普通	¥7,336,689		¥33	¥4,644,522	¥-2,692,167
医師信用組合					一般会計
學術基金(医師信スーパ一定期・2059738)	¥1,042,232		¥89	¥1,042,321	¥89
學術基金(医師信スーパ一定期・2059746)	¥1,162,770		¥99	¥1,162,869	¥99
<b>小計</b>	<b>¥9,541,691</b>			<b>¥6,849,712</b>	<b>¥-2,691,979</b>
三井住友銀行(市整会)	¥530,001		¥37	¥3,519,453	¥2,989,452
學術積立金	¥6,010,214	¥400,000	¥119	¥6,410,333	¥400,119
50周年積立金	¥4,000,272	¥1,000,000	¥0	¥0	¥-4,000,272
事業基金(30、35、40周年残金)	¥4,065,620		¥68	¥4,065,688	¥68
<b>小計</b>	<b>¥14,606,107</b>			<b>¥13,995,474</b>	<b>¥-610,633</b>
渉外準備金	¥12,679,897		¥214	¥12,680,111	¥214
現金	¥100,324			¥531,109	¥430,785
50周年記念				¥410,305	¥410,305
<b>合計</b>	<b>¥36,928,019</b>			<b>¥34,466,711</b>	<b>¥-2,461,308</b>
					(一般会計合計)

## 50周年記念行事(令和5年3月31日現在)

### 1.収入の部

積立金(平成30年度～令和4年度)	¥5,000,000
利息(平成30年度～令和4年度)	¥304 定期¥293 普通¥11
参加費	¥895,000 会員45名、家族44名、未就学児6名
収入合計	¥5,895,304

### 2.支出の部

会場費(ザ・リッツ・カールトン大阪)	¥2,888,822
アトラクション出演料	¥300,000
じゃんけん大会景品代等	¥244,845
来賓お車代	¥30,000 ¥10,000×3名
花束代	¥46,000
準備委員会・座談会費	¥403,085
座談会時の業者への差し入れ	¥1,600
記念品代(爪切り)	¥1,284,800
招待状等印刷代・送料	¥203,906
座談会案内状送料	¥3,024
記念品送料(会員へ)	¥74,000
事務用品費	¥2,332
振込手数料	¥2,585
記念冊子制作費・印刷代等	令和5年3月31日現在 未払い
支出合計(A)	¥5,484,999
残金(B)	¥410,305
合計(A+B)	¥5,895,304

## 会計監査報告書

令和4年度市整会（大阪市大整形外科開業医会）の歳入歳出につき、慎重監査いたしましたところ、適正に処理・管理されたことを認めます。

令和5年5月9日

監事

楢 憲一郎



令和5年5月13日

監事

安 田 浩 成



# 家族会のお知らせ

福利厚生担当 大川得太郎（昭和62年入局）

## お久しぶり！市整会家族会！

日時：令和5年11月19日（日）

お久しぶりです。なんと4年ぶりの市整会家族会です。新型コロナウイルスのおかげで、伸び伸びとなっており、その存在も忘れられそうです。今回は、和歌山の紅葉を堪能したいと思います。

和歌山市は大阪よりすぐ南に位置して、交通の便も便利ですが、京都や奈良と比べて、観光に訪れる機会は大阪の方には少ない印象です。私も、和歌山城を観光したのは、5年前です。

今年の目玉は、和歌山城の紅葉です。和歌山城は虎伏山（とらふすやま）に白亜の天守閣がそびえるお城です。虎伏山は、その名前の通り虎が横たわっているような形状をしており、また天守閣が伏している虎のように見えます。築城は1585年で、豊臣秀吉の弟である秀長が、築城の名人藤堂高虎に命じたのが起こりです。1619年には徳川家に移り、徳川御三家として反映しました。特に、第五代紀州当主の徳川吉宗は第八代将軍（TVの暴れん坊将軍）として有名です。和歌山城の西之

丸庭園は、1619年に徳川頼宣により造園され、別名 紅葉溪庭園（もみじだにていえん）と呼ばれる、紅葉の名所です。今回は和歌山城の紅葉を存分に堪能していただきたいと思います。

お食事は、和歌山の老舗の「四季の味 ちひろ」で懐石料理を堪能していただけます。お食事の後には、月化粧で有名な青木松風庵の月化粧ファクトリーで、月化粧の工場見学と出来たての月化粧を味わい、お買い物も出来るプランを考えております。

家族会は、お子様連れから、ご年配の方まで幅広く、気楽に親睦を深める場として、毎年好評を頂いております。特に今回は、新入会の方々のご参加を期待しております。どんどん応募下さい。

なお、詳細は9月に入ってから、改めてご案内させていただきます。皆様どうぞ御家族そろって、家族会を楽しんで下さい。



# スケルトンゴルフコンペ

担当理事 天野 祐一（昭和57年入局）

さる6月11日にまたしても市整会学術講演会の翌日に、第28回スケルトンゴルフコンペが開催されました。今年は例年より2週間も入梅が早く、みなさんの祈り届かずコンペは雨になりました。東コースと南コースに分かれて3組ずつのスタートになり昨今のキャディー事情もあり、セルフラウンドになりました。

7時40分マスター室前に集合し、西澤徹会長ご挨拶、同門会長 佐々木健陽先生ご挨拶、レジェンド吉田研二郎先生ご挨拶に続き、初参加の先生のご挨拶がありました。右記成績表の○印は大学の先生と勤務医会の先生です。

昨年の22人を上回る24人の参加で初参加の先生も増えました。

今回も『プロ』小島孝仁先生がぶっちぎりの78のベスグロで初優勝しました。ただひとり雨中の70台は素晴らしいスコアです。期待の小竹志郎先生が追いつがるも86。大学の「300ヤードの」高橋真吾先生が88、島田病院の金田国一先生（田中直史先生曰くしぶといゴルフ）が89。新入会の小阪寿憲先生が88と健闘されました。

一日中降ったりやんだり、カッパを着ると暑く、脱ぐとやや肌寒い感じでしたが上位陣は安定していました。

田中直史先生はメンバーの強みでコースを熟知していましたが「あそこに行ったらあかんねん、の方向に行く」というマーフィーの法則に苦しみ93。それでもスイングスピード45m/sは伊達じゃない。ドラコン賞獲得されました。同組の袴史明先生はマラソンなどのアスリートで、強靱な下半身からのドライバーショットは田中先生と同等で99でした。大学の寺井准教授は本来の力が出せず101。久々参加の浦勇先生はしっかりドラコンをとりましたが95。新人3人衆の鳥飼大剛先生も飯田高広先生も腕に覚え有りの100前後で鳥飼先

生のドラコンは260ヤード近く飛んでました。会計担当伊藤智康先生も固いゴルフで92でしたがダブルベリアの間に飲まれました。馬野隆信先生も手堅く93にまとめました。昨年優勝の西澤徹会長は東北旅行から帰ってすぐの前夜の講演会懇親会で腰を据えて飲んだせい、午後になって本領發揮。メンバーの増田博先生は着実に進歩していました。大学の腫瘍グループの大戎直人先生は小島先生と同組のプレッシャーかスコアを崩されました。大阪市立総合医療センター小児整形外科の北野利夫先生もニアピン賞は持って帰られました。勤務医を卒業されるとのこと、応援致します。奥田均先生が昨年から突如ゴルフに燃え、ゴルフの盛んな城東区医師会コンペでもメキメキと頭角を現して来ました。正確無比なドライバーやフェアウェイウッドはさながら精密機械でした。この日も5ホール目でバーディーを奪いその時点で3オーバー。トップの小島孝仁先生とリーディングボードで同スコア。一体何があった？と周囲がざわつきました。

小生はと言うと、矢張り飲み放題付きフカヒレコースの翌日はいけません。雨も恨めしく、振り回せばいつもの「ど」スライスが出るわ、池には2発入れちゃうわで、奥田均先生と同じプロに教わっている秋野一男先生、辰巳一郎先生とともに低スコアに沈みました。

親睦と勝負のスケルトンゴルフコンペ、今年は成績発表の親睦食事会も開催できてよかったです。賞品は殆ど食品にしてもらいました。馬野隆信副会長の挨拶で閉会となりました。来年も是非ご参加をお願いいたします。

また、年末の市整会ゴルフコンペは同じ天野山カントリークラブにて12月10日に開催予定です。今から予定をお願いいたします。



小竹志郎先生と初参加の小阪寿憲先生、飯田高広先生、鳥飼大剛先生



優勝の小島孝仁先生

### 第28回スケルトンゴルフコンペ順位 (敬称略)

天野山カントリークラブ 2023.6.11 参加者24名

		東	南	GROSS	HDCP	NET
優勝	小島孝仁 ○	41	37	78	6.0	72.0
2位	高橋真治 ○	47	41	88	14.4	73.6
3位	小阪寿憲	44	44	88	14.4	73.6
4位	金田国一 ○	47	42	89	14.4	74.6
5位	浦勇武志	45	50	96	20.4	74.6
6位	田中直史	45	45	100	18.8	75.0
7位	飯田高広	55	43	83	22.8	77.2
8位	馬野隆信	45	48	93	15.6	77.4
9位	禰 史明	49	50	99	21.6	77.4
9位	小竹志郎	43	43	86	8.4	77.6
11位	佐々木健陽	57	57	114	36.0	78.0
12位	奥田 均 ○	57	49	106	27.6	78.4
13位	増田 博	54	51	105	26.4	78.6
14位	金井秀彰	49	52	101	21.6	79.4
14位	寺井秀富 ○	50	51	101	21.6	79.4
16位	鳥飼大剛	48	52	100	20.4	79.6
17位	伊藤智康	47	45	92	12.0	80.0
18位	吉田研二郎	56	59	115	34.8	80.2
19位	秋野一男	52	54	106	25.2	80.8
20位	天野祐一	52	49	101	19.2	81.8
21位	西澤 徹	58	42	100	18.0	82.0
22位	北野利夫 ○	65	55	120	32.4	87.6
23位	辰巳一郎	64	60	124	36.0	88.0
24位	大戎直人 ○	55	59	114	25.2	88.8
ドラコン 東9コース 高橋 田中 南6コース 浦勇 鳥飼 ニアピン 東5コース 小島 小阪 南3コース 金井 北野 ベスグロ賞 小島孝仁先生 (2年連続)						

# 自己紹介

小阪 医院

院長 小阪 寿憲 (平成14年入局)

初めまして。この度、市整会に入会させていただきました小阪寿憲と申します。

平成14年(2002年)に近畿大学を卒業し、同年に大阪市立大学整形外科に入局させて頂きました。

当時の医局長の薦めで大阪市立総合医療センターにて研修を行い、大阪市立大学医学部附属病院、阪堺病院、石切生喜病院、辻外科リハビリテーション病院で勤務し、令和5年4月から医療法人 桂礼会 小阪医院で開業しております。小阪医院は1990年(当時私は高校1年生)に父が開業し、現在も理事長で内科医として勤務しており、2人態勢で外来業務を行っております。関連病院では主に脊椎外科医として勤務してきました。

4階立ての建物(クリニック兼元自宅)の3階までを約3ヶ月かけまして改築しました。

以前は1、2階をクリニックとして利用し3、4階は居住空間でしたが誰も住んでいない為、1階は処置室を改築、2階はリハビリテーション室

を診察室に、3階は居住空間をリハビリテーション室に改築しました。内科の業務を行いながらでしたので、父と勤務者は苦労があったと思います。そして今回、電子カルテを導入しましたが、私の説得では父が納得しなかったのですが、建築士の先生に説得されやっとの思いで導入出来ました。ところが利用してみると、電子カルテ自体に色々と想定外の事が生じまして、今でも調整している次第で、なんとも思った通りに行かなくて苦い経験となりました。

今後は今まで培った経験を基に、一般整形外科、骨粗鬆症、エコー下ブロック、リハビリテーションなどを行い近隣の患者様に貢献することが出来ればと思っております。最後に若輩者ですが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

〒577-0802 東大阪市小阪本町1-9-13

Tel : 06-6722-5311



# 自己紹介

やまべ整形外科

山部 孝弘（平成26年入局）

市整会に新たにご入会させていただきました、山部孝弘と申します。平成24年広島大学医学部卒、平成26年市大整形外科入局、令和4年9月に直近まで勤務していた佐野記念病院のお膝元である大阪は泉佐野市で、「やまべ整形外科」を開院しました。

私の人となりは私の経歴に一部表れていると思いますので、私の経歴から近況までを簡単にご紹介させていただきますので、そこからぼんやりと私という人間をイメージしていただければと思います。

生まれは広島で、ライトなカープファンです。広島学院という中高一貫男子校に入学し、中学時代は漫画スラムダンクに憧れバスケットボール部に入りましたが、協調性がなくチームプレイは向かないし良く分からないし楽しくないことに気づき、高校から柔道部に入りました。柔道部は非常に楽しく、それ以降、チームプレイをしたことはありません。高校卒業後は早稲田大学という関東にある大学に入学し、格闘技（日本拳法）と麻雀にのめり込みました。

一般企業就職に魅力を感じないという理由で就職活動は行いませんでした。将来のことは何も考えておらず、「強力な免許が欲しい」「まだ働きたくない」程度の動機で医学部に行きたいと考えました。お金は全くなかったので、自宅から通学できて授業料が激安な国公立の医学部、ということで広島大学以外選択肢はありませんでした。

医学部には無事入学でき、マイペースに二度目の大学生活をしていましたが、何か物足りなかったのでしょうか、早稲田で唯一まじめに取り組んでいた日本拳法の部活を作ったり、小学生までのちびっ子を対象とした日本拳法の道場を運営したりと、少しずつ社会性というか社会に関わるような活動を行えるようになっていました。

年齢とともに少しずつ落ち着きはじめ、社会性が出てきたのもあったおかげか、同じクラス内に彼女ができました。鼯目抜きでもべっぴんで、

私とは明らかに釣り合わない神戸女学院出身の芦屋のお嬢さんでした（過去形）。卒業とともに地元関西に戻るといって彼女に連れられ私も関西にきました。

長居公園が素敵だという理由で公園に隣接する東住吉森本病院を初期研修先を選びました。私は自身の社会性に非常に自信がないため、とりあえず初期研修修了証をもらうまではイエスマンに徹しようと自分を律し、なんとか研修修了することができました。分かりやすさと手術の楽しさに魅了され整形外科を選択し、東住吉森本病院の整形外科が市大関連ということで市大整形外科医局に入門させていただきました。

東住吉森本病院→済生会中津病院→白庭病院→なにわ生野病院→佐野記念病院と素晴らしい病院で鍛錬を積む機会を与えていただきましたが、この間、全ての病院で必ず大小何かしらのトラブルを起こし、先輩上司にたびたび怒られてきました。ただ、私自身が現在進行形で少しずつ精神的に落ち着いていったことや、「阿呆な奴でもまあ何とかしてやろう」という市大整形外科のいい感じの雰囲気のおかげで、何とか整形外科専門医までたどり着くことができました。

各施設での阿保エピソードはまた別の機会にご紹介できればと思いますが、開業のきっかけとなったのは、市整会でもおなじみ小竹先生の「こたけ整形外科」です。奈良の白庭病院在職中にこたけ整形外科で外来診察バイトをさせてもらいましたが、その間、小竹先生から開業医のリアルを教えてください、とても自由で楽しそうだという印象を受けました。

以降、勤務医を続けるか、開業医になるか、2つの道で思案することになるわけですが、この紹介文からもある程度伝わるやもしれませんが、私にとって勤務医を続ける事はあまりにも過酷で、開業医を目指そうと決心するまでにそう時間はかかりませんでした。

開業すると決めたなら、なるべく早く開業した

いと思い始めたタイミングで赴任されたのが、泉佐野の佐野記念病院です。佐野記念病院は懐の広い病院で、私のこともすぐに受け入れてくれました。患者層も非常に良い地域で、関西にきて一番水に合う地域だな、と感じました。そういうわけで、泉佐野エリアでの開業を決意し、佐野記念病院で3年間勤務する傍らじっくりと開業準備をし、昨年2022年9月に開業することができました。

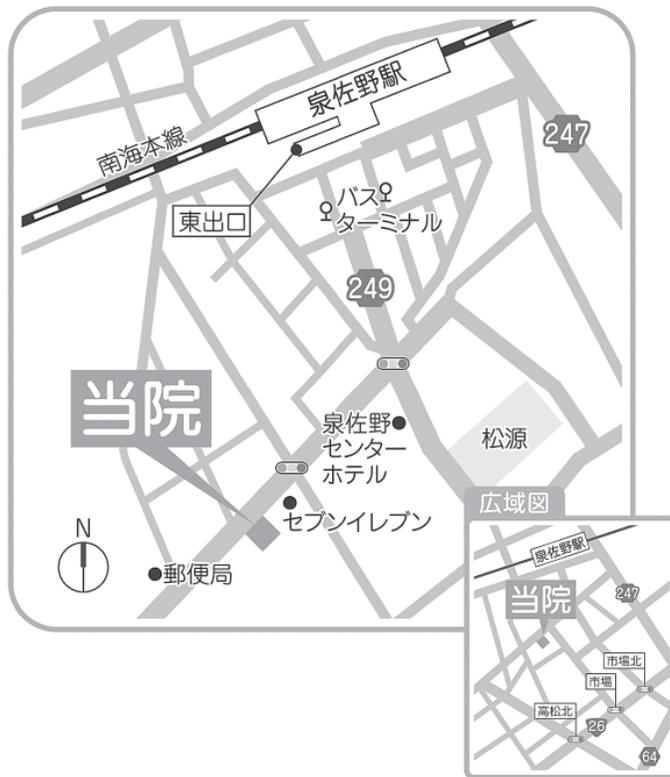
入念な準備だけでなく、様々な出会いや幸運な出来事にも恵まれたお陰で、自身で言いきれるくらいのロケットスタートに成功できました。しかし、状況は常に変化するもので、今後予期せぬトラブルに見舞われることは確実ですし、もしかす

ると現在すでに重大なトラブルの芽が育っている最中かもしれません。今後はクリニックも2極化が進んでいき、抗う術は持続成長のみと確信していますので、ロケットスタートに慢心せず、心の中では決して白い歯は見せず、常に緊張感を纏い臨戦態勢であり続けようと心がけております。

以上、簡単に私の今までと現在の心模様についてご紹介させていただきました。

アンバランスな人間だと自覚しておりますが、悪い人間ではないとも感じておりますので、今後市整会の一員として受け入れていただきたいと思っております。

宜しく申し上げます。



# 腰痛フリー町石道を歩く

市整會会長 西澤 徹（昭和62年入局）

私事ですが、腰部脊柱管狭窄による1kmも歩けない間欠性跛行、ついには馬尾症状まで出現し、令和2年末に坂中秀樹先生に執刀していただきました。年末年始を病院で過ごし、退院後即診療開始。

次の週末におそろおそろ近所の大泉緑地まで散歩してみたら5kmを全く症状なく歩きました。ほんとうれしかった。2か月後にはゴルフも解禁。カートに乗るのはもったいない。完歩が習慣になりました。

昨年秋、天野祐一先生たちがされている有志のハイキングに参加させてもらいました。六甲山中を歩きましたが、これまた無症状でした。

調子に乗って5月の連休に「町石道」を歩いてまいりました。以前から行きたいなと思っていましたが、禰史明先生のフェイスブックを拝見して心に灯がともりました「町石道」。「ちょういしみち」と読みます。

和歌山県公式観光サイトによれば『高野山町石道は、弘法大師・空海が高野山を開創した際、木製の卒塔婆を建てて道標とした表参道です。やが

て、大師信仰の広まりとともに多くの人々が参拝に訪れるようになり、高野山へ通じる7つの道が開かれ、「高野七口」と呼ばれました。中でも高野山町石道は主要参詣道として利用され、町石は単なる道標ではなく、参拝者が卒塔婆形町石に礼拝をしながら山上を目指したことを今に伝えています』、とのことでした。

高野線の九度山駅から高野山金剛峰寺の根本大塔までの22kmほど。町石は180基続きます。標高差は750mほどのようです。

ガイドによると休憩なしで6～7時間を要するとあったので、初芝駅05：33発。九度山まで各駅停車。それでも1時間足らずで到着、案外近い。手がかじかむ冷気。降車したのは6名。混雑とは無用で過ごせそう。

今は便利だ。山歩き用のアプリ「ヤマレコ」であらかじめ登山計画。経路地点をスマホの地図上にプロットするとコースマップのできあがり。道を外れれば一目瞭然。自分がどこにいるかもすぐわかる。遭難しても位置情報で家族にわかる。

06：39九度山駅出発。柿の葉寿司の名店「九和



丹生都比売神社 杉木立の中の太鼓橋、楼門、本田の配置が美しいです。世界遺産で、町石道から少し外れていて、ここは車で行けます

楽」の横を通り過ぎ、まずは女人高野「慈尊院」へ。安産縁結びのご利益とか。多宝塔が華やか。続いて丹生官省符神社へ。弘法大師創建の神社で、これも世界遺産登録されているとのこと。

そういえば今年には弘法大師誕生1250年。町石道を歩くにはふさわしい。神社奥からいよいよ町石道に入る。道は整備されている部分もあれば山を削っただけのところもある。町石には根本大塔から順に番号がふってあり仏尊を表す梵字が記されている。古いのもあれば、建て替えられた新しいものもある。

さっそく最後の180番を見逃した。最初は結構急登なので全部拝むことはすぐあきらめた。20分ほどで展望台に到着。紀ノ川の絶景を見降ろしつつ朝食。命が惜しいのでアルコールは持参せず。

08:31六本杉と言われる峠へ。ここから寄り道して、「丹生都比売神社（にうつひめじんじゃ）」参拝。せっかく登ってきたのにひたすら下る。少し後悔した。でも訪れた甲斐はあった。ここも世界遺産登録されており、ある種の静かな威厳があった。ただこのあと、09:23に町石道に合流するまでの道が急坂で閉口した。余分に30分以上歩くことになった。

そのあとはだらだらの登りが続く。途中紀泉高原GCのコースと接する。

杉林の中なので、日差しはあまり入らないのだが、汗はかきまくる。徐々に町石の番号が小さく

なってくるのが嬉しいし、足取りも軽くなる。

高野山道路を横切ってから最後の1時間余りはこれまたけっこうな坂。このころには足の疲労を強く感じる。芍薬甘草湯を持参すればよかった。座るとそこで力尽きそうで怖い。まだまだ訓練が足らん。ジムワークとは使う筋肉がちがう。

そして12:38大門到着。金剛力士像を拝みながら残りのおにぎりで昼食。そこからとぼとぼと金剛峯寺を参拝。さすが大型連休。駐車場はほぼ満車。渋滞も相当な模様。「俺は歩いてきたもんね」と一人悦に入る。

寄り道はせず（する気力もなく）バスで高野山駅へ。そこからまだ新車同様のケーブルカーで極楽橋へ。帰路の電車はまだ空いていて、往復で文庫本1冊読了。歩行距離22.2km。上り1322m、下り577mだそう。総歩数39561歩。帰宅してのビールは1本では足りませんでした。モーラスXRは効果抜群。

たまたま徳島高知間のサイクリングの宿が取れずに断念した結果の思い付きだけれど、大きな達成感のあったハイキングでした。

ここまで回復できた坂中先生、ハイキングに目覚めさせてくれた天野先生、そして刺激を与えてくれた禱先生に感謝です。

年寄りの冷や水と言われぬうちに「常念岳から燕岳」縦走を果たしたいものであります。



道自体は写真のように整備されたところや、山肌をV字状に削っただけのものもあります。しっかりとした靴は必要です



町石は風化して文字が読めないものから、造りなおされたものもあります。道にあるものや、離れたところにポツンと佇むものもあります

# 山歩き番外編 戦国の山城 観音寺城跡

天野 祐一（昭和57年入局）

上り新幹線で滋賀県近江八幡にさしかかると両側に広がる広大な田園風景があり、そのあちこちに小高い山々があります。はるか東には鈴鹿山脈、西には琵琶湖の向こうに比叡山や比良山、武奈ヶ岳等の琵琶湖水源の山々がそびえています。畿内がこの国の中心だった永い間、覇権を巡って争いの絶えなかった土地であり、平安時代から南北朝時代、戦国時代にかけて幾多の山城が作られ、陥落され、を繰り返した土地でもあります。このあたりに南北に連なる割となだらかな山が左側に見えます。これがきぬがさ山（観音寺山）です。

南近江は平安時代に土着し鎌倉時代初期から戦国時代末期まで近江守護を務める宇多源氏ゆかりの佐々木六角氏が支配しており、標高432.7mのきぬがさ山の山頂近くに、1400年前にかの聖徳太子が建立された観音正寺の回りに城郭が作られました。永きにわたる増築で中腹から山頂近くにかけて家臣の居館がそこかしこに作られましたが、1530年頃から石垣の築城がされました。それまでは、堀と土塁で作られていました。日本最初の石垣の城と言われた安土城の10年程前です。戦が終わると城主や家臣団は麓の屋敷や地元支配地に戻るのが普通ですが観音寺城はこの山の上に住み暮らしているようでした。

実際に足を運ぶと、麓からなら殆ど登山で、表参道は1200段の石段です。この高さは神戸なら再度山くらいあります。300円の通行料を払って中腹かなり上？の駐車場まで行って、そこからでも400段の石段で結構な山城です。昔の足軽武士は40キロにもなる具足や武器を携えての登城、さぞかし大変だったことでしょう。

家臣の一人で後に信長、秀吉に仕え日本3大商人のうちの近江商人の発展に関わった（と勝手に考えています）蒲生氏。彼は伊勢や会津に国替えを命じられると地元商人を引き連れて移住し、その土地が繁栄しました。残された近江の住民も没

落せず、様々な商売で販路を拡大してゆきます。近江日野商人は漆塗りのお椀や薬を売り歩きました。冷蔵庫の無い時代、漆塗りの椀は軽くてものが腐りにくく農家でも重宝されたそうです。もちろん徒歩や馬を使っでの行商、天秤棒担いでの鋸商い（差す手引く手に油断なく、鋸商いにて一日日本永代蔵四）。最盛期には木材が足りず中国地方から運んで椀作りをしていたようです。

この販路を関東に求めて、現地では醸造業、（味噌、醤油から酒）を起こして定着し、宿場には仲間内の行商のための商人宿を設け地縁、血縁を重視して商いを広げて行きました。現在の大企業のかかなりの数がこの近江の地が発祥であり目を見張るものがあります。

家臣団の一人、三雲氏は甲賀53家に数えられ甲賀の忍者と関わりがありました。伊賀忍者、戸隠忍者と並んで挙げられる甲賀忍者ですが実態は六角氏の傘下に属しながら「惣」を作り、すべての郡の案件を合議制で決めていたようです。足利將軍義尚と争った1487年の「鈎（まがり）の陣」の戦いで忍者のゲリラ戦法が有名になりました。また甲賀忍者は手妻（単なる手品ではなく幻術、目眩ましを含む）や薬を使うことに長けており、その名残でこの地には製薬会社が多いとのこと。

観音寺城現地での本丸跡は広いですが、それよりも伝平井丸（家臣の平井氏の居館）の石垣が堅牢にして巨大で、一説によるとここが六角氏の居館？という説もあります。

一般に家臣の居館の広さが城主のそれを上回る事は無く、信長が明智光秀の城に招かれた時に応接間が自分の城より広いのに立腹して帰ったという逸話もあります。こんな山の上にこんな城を、という驚きは数年前に訪れた金華山稲葉山城（岐阜城）でも感じました。天守から眺めると濃尾平野が眼下に広がり間近に伊勢湾を望みます。「天下は我が物」と勘違いさせる魔力があります。

観音寺城が1568年に信長に攻められた時、六角氏親子は逃亡し居館は炎上したと言われていません。朝倉氏一乗谷、浅井氏小谷城、比叡山延暦寺、大坂本願寺砦、根来寺、何でも燃やしてしまいましたね。

この地域が要衝であったことは、そもそも明治になって東京新橋駅－横浜間に初めて鉄道が敷設された1872年10月や大阪－神戸が1874年5月に続いて、わずか10年後の1882年（明治15）に日本初の鉄道4路線の一つとして敦賀－長浜間に日本海側初の線路が敷かれた事でもわかります。東海道、中仙道、北陸道が交わり物資が北陸、関東、信州から京都、大坂に運ばれる。もっとも北国街道にトンネルを掘り全通したのはもう少しさきでしたが。

余談ですが、友人が西宮の山手に家を建てたとき敷地から直径1m大の岩がゴロゴロ出て来て、処理料金が一つあたり数十万とのことで頭をかかえていましたが、それどころではない石垣の築

城。まあ当時の公共事業のようなものでしょうか、大坂夏の陣では外堀を埋める際に土嚢1俵に米一升が支払われたとか聞いたことがあり、民衆がこぞって堀を埋め立てたとか。太閤さんを好きななにわの民のはずなのに。

大阪城の向かいで学んだ高校時代、冷房の無い時代にポーッと窓から天守閣を眺めていました。ここを放課後剣道部のランニングで毎日のように一周走っておりましたが、途中本丸から内堀を見下ろすと恐ろしい位に高く、重機の無い時代にこれほどの石垣の城を作った権力者の力って、という事には想像も及びませんでした。

脱線続きの駄文ですが御容赦下さい。お城はどこも人気で人がいっぱいですが、城跡はあっけない程閑散としており、殆ど他人とすれ違うこともなく不気味なほどです。歴史ロマンに浸るには絶好です。ぜひおすすめします。2023年4月16日訪問。



観音寺城



観音寺城 平井丸

# 今話題のChatGPT使ってみた

馬野 隆信（昭和58年入局）

OpenAIが2022年11月に公開した対話型AIサービスであるChatGPTですが、2023年5月にはスマホで利用できる公式アプリが日本でも利用可能となりました。現時点ではiOS版のみですが、Android版もこの原稿が出る頃には公開されている可能性があります。「GPT」とは「Generative Pre-trained Transformer」の略で、直訳すると「生成型（Generative）事前学習（Pre-trained）変換器（Transformer）」となります。自然言語処理の技術を使って、さまざまなトピックに関する質問や会話に応えることができる言語モデルです。そのため、チャットのように利用することができ、ChatGPTと呼ばれています。医療関係者としては肝機能のγ-「GTP」の方がお馴染みかもしれませんが、ChatGPTによると、GPTとGTPは視覚的に非常に似ているため、間違っGTPと読んだり書いたりすることがあるそうです。

ChatGPTの無料で使えるGPT-3.5というバージョンは、PCではOpenAiのChatGPT公式サイトにアクセスし、メールアドレスだけで簡単に利用できます。スマホでは、iOSならAppStoreから公式アプリを無料でダウンロードできます。GPT-3.5の学習データのカットオフ（情報の学習範囲）は2021年9月までであり、2021年9月までの情報に基づいてトレーニングされています。したがって、それ以降の出来事や最新の情報については知りません。最新のニュースや出来事については、信頼性のあるニュースソースや情報源を参照することをおすすめします。

「ChatGPT-4」という最新版は2023年3月に公開され、有料（PC：月額20ドル、アプリ内課金：同3,000円）となっています。回答速度が向上し、3.5よりも自然で高い精度の回答が得られるとされていますが、無料版でも十分に利用できております。

最近では、国内の大企業や自治体でも

ChatGPTを業務に導入するというニュースが頻繁に報じられていますが、診療所の業務でもChatGPTを便利に活用することができるかもしれません。

ChatGPTは広範な情報源を学習しており、科学、歴史、文化、エンターテインメントなど、さまざまな分野の知識を持っています。また、英語をはじめとする複数の言語にも対応しており、日本語での質問にも日本語で回答することができます。報道によれば、2018年から2022年までの5年分の医師国家試験を解いた結果、ChatGPT-4はすべての年度で合格ラインを上回ったと報じられています。また、将来的には弁護士法律相談においてもChatGPTが役割を果たす日が近いかもしれません。

MicrosoftはOpenAIとの契約により、無料の検索エンジン「Bing」がChatGPTと統合されています。これにより、GPT-4とBingの検索技術を組み合わせて、チャットの回答時にウェブの情報を検索し、最新の情報を考慮した回答を提供することが可能になっています。つまり、AIがウェブ上の最新情報を検索して質問に答えることができるようになっています。

検索だけでなく、ChatGPTはさまざまな用途に利用することができます。以下はChatGPTが自己紹介した機能とできることの一部です。

1. 質問への回答：幅広いトピックに関する質問に答えることができます。一般知識の質問から具体的な情報まで、さまざまな質問に対応します。
2. 文章の生成：文章の生成が得意です。特定のテーマに関する文章や物語の一部、詩の作成など、要求に応じて文章を生成することができます。
3. 翻訳：簡単な翻訳作業にも利用できます。英語から他の言語への翻訳や他の言語から英語へ

の翻訳を行うことができます。

4. クリエイティブなサポート：クリエイティブな活動にも利用できます。文章やストーリーのアイデア提供、キャラクターの設定、曲の歌詞作成など、創造的なプロセスをサポートします。
5. 会話のパートナー：会話パートナーとしても利用できます。質問や話題についての対話、相談事への応答、日常会話のサポートなど、人間のような会話体験を提供します。
6. ユーザー補完：ユーザーの入力に対して追加情報や補完を提供することができます。文章の修正や改善の提案、入力内容の補完など、より滑らかなコミュニケーションを支援します。

使用するに当たり重要な注意点として、ChatGPTは機械学習モデルであり、情報の正確性や確度は保証されていないことを理解しておかなければなりません。特に正確性が求められる場合には、信頼できるソースや専門家の意見を参考にすることが非常に重要です。

実際に使用した経験から述べますと、ChatGPTはメールの返信文章などにおいて非常に役立つテンプレートを提供してくれます。ビジネスで使用される定型文だけでなく、医療・介護の分野で馴染みの薄い文章についても丁寧かつ簡潔な提案をしてくれるため、大変助かっています。院内の掲示物や患者様への案内文の作成などにも重宝します。まさに頭の切れるパーソナル秘書のような存在と言えるでしょう。

英文の作成についてですが、以下のように依頼してみました。

■あなたは整形外科診療所の医師です。患者の小谷翔平様（75歳男性）は右膝全人工関節置換術を受けておられます。小谷様から、「来週海外旅行に行くにあたって、空港の金属探知機を通る際に探知機に反応しても係員に説明出来るよう英文の文章を作成してくれ」と頼まれました。英語圏の方に通じる丁寧で簡潔な英文の証明書を係官宛に作成して下さい。「Enter」

回答は紙面の関係で載せませんが、このように聞かけると、ChatGPTは適切な雛形を提供してくれます。英語に堪能な方による添削の助けがあるとさらに良い結果が得られるかもしれませんが、ChatGPTの英語能力は高いと思われます。

ChatGPTに「質問・依頼する時のコツを教えてください」と尋ねると、以下のような回答が得られました。要点を整理しますと、「漠然としたものよりも、質問や依頼の目的を明確にすること、簡潔な言葉を使うこと、必要な背景情報を提供することが重要です。」さらに、「ChatGPTは機械ですが、丁寧な言葉遣いや礼儀正しい態度で接することが重要です。敬意を払い、感謝の意を示すことで、より良い対話が促進されます。また、ChatGPTはリアルタイムの対話ではないため、返答には少し時間がかかることがあります。」とも回答しました。

ChatGPTは業務の効率化に役立つ一方、AIによる作品の乱発や著作権の問題などのリスクも指摘されており、課題もまだまだ存在すると考えられます。国家レベルでも規制を求める声が上がっていますし、教育現場ではレポート作成において使用を禁止すべきとの意見もあります。

AIは万能ではありません。ChatGPTは大量のテキストデータから学習しますが、その結果、偽情報を含んだデータを学習してしまう可能性があります。また、ChatGPT自体が偽情報を生成することもあります。絶対的に正確なものではないため、最終的な判断は人間が行う必要があります。実際、米国では弁護士が裁判用に用意した訴訟用の書面で、ChatGPTから得た過去の判例が実は偽りだった事例が報道されています。また、AIは未来予測もできないため、AIの特性を理解した上で上手に利用する必要があります。今後はChatGPTがより進化し応用されることを期待していますが、同時にルールやガイドラインの整備がより求められています。

# 関ヶ原の戦い

竹中 稔幸（昭和62年入局）

今回は「関ヶ原の戦い」について結構昔から思っていたことがあるのでちょっと述べさせていただけます。関ヶ原の戦いはみなさんご存じのように豊臣秀吉亡き後、徳川家康が天下取りの野心をむき出しにし、加賀前田家に謀反の因縁をつけて臣従させ、次いで上杉に謀反の疑いをかけたが屈服しなかった上杉を征伐するため奥州に出兵して上方を留守にすることで石田三成に挙兵させ、奥州から取って返した徳川率いる東軍と石田三成（名目上の大将は毛利輝元）方の西軍との間で争われた戦いです。今回は合戦自体をうんぬんするのではなく、上杉征伐に来ていた徳川が反転したときになぜ上杉は追い打ちしなかったのかということを考えてみたいと思います。

歴史小説では直江兼続が追撃を主張するのに対し、上杉景勝が上杉家は先代の上杉謙信以来、義に則って戦を行ってきており、敵を後ろから襲うような卑怯な戦はしないと返答するのですが、上杉としては相手から仕掛けてきた戦いで、やむを得ず応戦することになったわけではありますが、ここで追撃しなければ後におとがめなしとは到底ならないわけです。戦闘は退却の際に追撃されるのが被害が大きくなるし、徳川軍は遠征軍で上杉は自領又はその近郊ですので戦術だけを考えれば追撃するのが理にかなった考え方なのだと思います。

しかし戦略上の観点からこの戦いを考えてみますと「天下分け目の合戦」と後に称されるように、この戦いでの最終勝者が天下を掌握するようになるわけです。このような大戦はたいてい何か月、時には何年もかかる長期戦になると考えるのが妥当でしょう。

国を東西に分けて行われた戦いとしては「源平合戦」等いくつかありますがこのころの武士たちには百数十年前に起った「応仁の乱」が強く意識されるでしょう。この戦いは11年も続き、最終勝者どころか中央に近い有力守護大名は軒並み戦後

に下克上等を経て没落していきました。このような轍を踏まず最終的な勝者を目指そうとするなら序盤では自己の勢力を出来るだけ消耗せずに温存して終盤で雌雄を決する大勝負しようと考えたでしょうから戦端を開く前に石田三成が挙兵してくれたのはこれ幸いだったと思います。

私は、歴史小説で「なぜ追撃しなかったのか」が最大の謎」というようなとらえ方をする方がおかしいだろうと以前から思っていたのです。ところが、先日のNHK「歴史探偵」で西軍の総大将の毛利軍は関ヶ原の戦いの時に瀬戸内方面で戦をしていて、関ヶ原からははるかに離れたところでの戦いの目的として、毛利は関ヶ原が短期で勝敗がつくとは考えてなくて自己の勢力範囲を出来るだけ広げたいと考えていたとのことでした。そういえば九州でも黒田官兵衛が百姓を兵に仕立てて領地を拡大しようと奔走していましたし、徳川軍も秀忠の別動隊は合戦に負けて関東に逃げる時のための兵力温存かもといわれていますから、まともな大将は当事者を含め大多数は長期戦を覚悟していたと思います。自分だけの考えでなくてちゃんと考察すれば大体皆同じような考えになるのだなあと思った次第です。

結果としては大方の予想に反して1日で戦の勝敗がついてしまって、しかも戦後処理も見事に対した反乱もなく、実質的には一気に天下を掌握してしまいました。

歴史というのは残った資料を基に推測すればほぼ正しそうな答えが出てくるもので私がひそかに思っていたような事は歴史学者にとっては当たり前のように推測できる様です。「井の中の蛙大海を知らず」を今回痛感しました。

追記：歴史小説家というものはいせん歴史を面白おかしく脚色するので、読み物として楽しむのは良いのですが歴史を深く知りたいと思うならあまり小説には感化されないようにしましょう。

# たにまち 12

阪本 博史（昭和59年入局）

残念！半年過ぎても残念！です。初場所千秋楽、霧馬山と一勝差で大栄勝は優勝目前。2連敗さえしなければ二回目の優勝でした。が、本割、優勝決定戦とまさかの二連敗。それも二回とも右からの引き落とし。ビデオを見ているかのような同じ負け方。残念至極でした。三役で10勝はできる実力はついてきたので、大関を狙える力士にはなってきています。ただ、押し相撲は調子にムラがあるので心配ですが、今後が楽しみです。

## 【内館牧子】

東北大学相撲部の監督で、元横綱審議委員の作家です。週刊朝日が休刊になるようですが、「暖簾にひじ鉄」というエッセイ連載をされています。相撲好きの女性で「元祖相撲女子」です。その連載1060回中183回に相撲の話が書かれていたそうです。

なかでも朝青龍に関する記事が11回と最多だそうです。まあ評判の悪かった横綱でした。毎場所前に「稽古総見」という横綱審議委員の前で横綱を筆頭に稽古を披露するというイベントがあります。あるとき、内館さんが東京ドームへプロレス観戦にいったところ、朝青龍も来ていました。その二日後の「稽古総見」を朝青龍が体調不良を理由に欠席したということですが、いわゆる「さぼり」で内館さんは激怒したそうです。

以来、内館さんは「朝青龍の天敵」と呼ばれました。白鵬にも型をくずした土俵入りなど、「お行儀と伝統の所作はちがう！」と再三注意をしていました。あっぱれな女傑です。

## 【相撲観戦】

久しぶりに春場所を見に行きました。知り合いの親方に頼んでチケットを取ってもらいました。

【値段】（升席は4名、イス席は1名です）

		席料	お土産代
枅席S	平日	¥56000	¥66000
	土日	¥60000	¥66000
升席A	平日	¥48000	¥57200
	土日	¥52000	¥66000
升席B	平日	¥40000	¥44000
	土日	¥42000	¥57200
升席C		¥44000	¥44000
イスSS	全日	¥11000	¥11000
イスS	平日	¥8000	¥5500
	土日	¥9000	¥11000
イスA		¥6500	¥9000
イスB		¥5000	¥5500
イスC		¥4000	¥4500
イスD		¥3500	¥3500

たまり席（砂かぶり）はひとり ¥14000 ですが、たてまえでは抽選です。

今回は、「観戦チケットの値段」の話をしてします。

古来、相撲の観戦は、「お茶屋をとおして席を取る」というのが基本でした。最近「チケットぴあ」でも購入できますが、良い席は出回りません。「お茶屋」は正式には「日本相撲協会認定相撲案内所」といい、相撲協会が枡席の販売を依頼している業者さんです。

席には、「砂かぶり」「枡席S, A, B, C」「椅子席SS, S, A, B, C, D」の11ランクあります。「砂かぶり」は東西南北最前列の4列で、座布団席です。ここは飲食、写真撮影禁止です。

「たまり会」「東西会」など各地方の古くからの濃い後援会が最前列を押さえています。

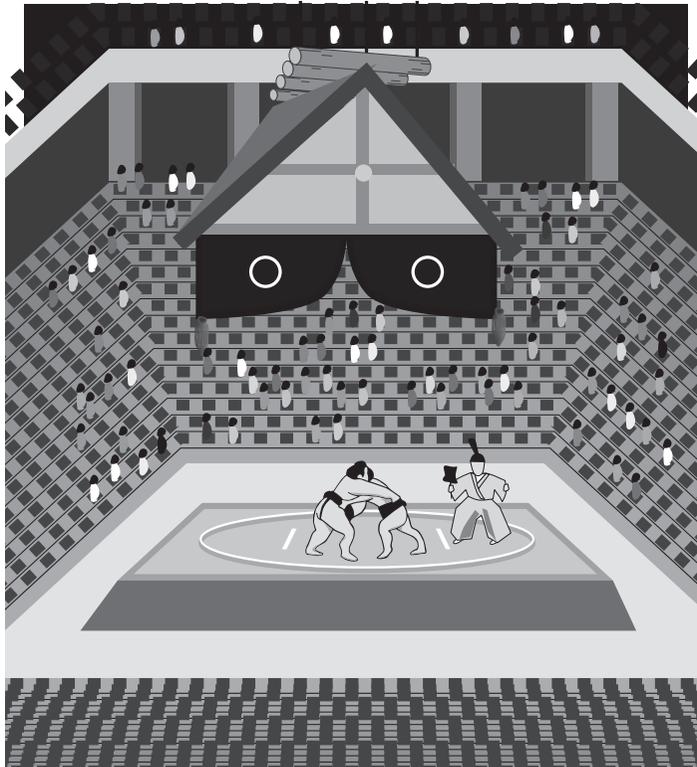
ご覧のとおり、お土産代が高いのですが、お茶屋さんの収入源ですので仕方ないのかな。お土産の袋の中身は、タオル、せんべい、湯のみなど

で、あまりたいした物はいっていません。家族4人で観に行ったらこれを4セットももらうのはどうかと思います。

席料だけでお土産なしというのがありますが、これは相撲協会をとおしてのチケットか、お茶屋さんに「こね」があるときには手に入ります。

「チケットぴあ」などでは扱われているチケットの数が少ないので、升席は手に入りにくいでしょう。イス席なら大丈夫ですが、あまり上のほうだと、エディオンアリーナでは、吊り下げ屋根がじゃまで殆ど見えません。

手に入りにくいチケットですが、お茶屋をとおすと、良い席もありますので、一年一度の「大阪場所」ですので、皆さん是非、来年3月は「なま」で相撲を観にゆきましょう。



# 私とクルマ

鱧永 浩（平成7年入局）

車好きであった頃の私のクルマ遍歴などを語らせていただきます。

1989年頃からの話しです。学生の頃は山口にいたので、移動にクルマは必須でした。買い物行くにも、コンビニに行くにも、遊びに行くにもクルマなくては大変な田舎でしたので、免許を取らなくてはと思ってはいたのですが、自動車学校へ行くタイミングが合わず、入学翌年の夏に取得しました。

初めてのクルマは、ホンダのアコードでした。当時の流行りで、普段は閉じていて、点灯する時だけ持ち上がるリトラクタブルヘッドライトを持つクルマで、4ドアセダンにはミスマッチなデザインでしたが、これでどこでも行けると、嬉しくて嬉しくて、大学の講義もサボってドライブばかりしていました。ボディは軽く、エンジンはホンダらしく気持ちよく回り、とても気に入ってました。昼も夜も走りまわり、行った先で疲れたら、後部席で仮眠をとり、目が覚めたらまたドライブ。山口県とその近隣のありとあらゆる道を走りまわりました。運転が楽しかったので、あまり飲みにも行かず、広島、福岡などへの街にもほとんど遊びに行きませんでした。一般道がガラガラに空いている田舎で、お金ももったいないので高速道路もほとんど乗らず、常に田舎道をひたすら走っておりました。そのおかげで、教養部から医学部進級に必要な単位が不足してしまい、留年となりました。

留年を含めた教養部2年間で、8万キロを走行し、秋吉台、萩、津和野、長門、出雲、宇部、下関、岩国、徳山、福岡、広島などなど、書ききれないくらいのいろんな土地に何度も行くことができました。と言っても、その土地にさほどの興味はなくて、運転が楽しく、道路マップを見ながら、次はそこを目指そう、その次はここへ、これからこの道を通ってみようという感じで、知らない道をひたすら走っていました。大阪への帰省も

いつもクルマでした。

8万キロ走ると、クルマがガタピシ言い出したので（あの頃のホンダはボディが弱かった？）今度は、アコードインスパイアに替わりました。とても贅沢なクルマでした。駆動方式がFFでありながら縦置き5気筒という変わったエンジンで、前輪の車軸のやや後方にエンジンが設置してあり、前輪の車軸から前席ドアの前縁までの距離が長い、FR車のようなデザインで、エンジンは滑らかに回り、速いクルマでしたが、エンジンの前の方に駆動輪があるため、駆動輪である前輪にトラクションがかかりづらく、（普通FF車は、エンジンを重しにして、前輪にトラクションをかかりやすくします）発進時アクセルを優しく踏み込まないと、前輪がホイールスピン（クルマは進まず前輪タイヤが空回り）をしました。

医学部に進級すると学業も忙しく厳しくなってきた、講義の出席もキッチリと大学から管理されておりましたので、あまり運転することはできなくなりました。

それでも、勉強が終わったら、夜に出発して明け方帰ってくるようなドライブは時々しておりました。

国試旅行（広島で試験があり、バスを貸し切り、クラス全員で、泊まりがけで試験を受けに行きました。）の前日の夜中も、これが学生最後かと思い、走り回っていました。

卒業して市大に入局許可をいただき、大阪に戻って済生会中津病院の研修医にさせていただきました。1995年のことです。

しばらく、インスパイアに乗っていましたが、通勤中、新御堂筋でうっかり縁石にタイヤをぶつけてしまい、サスペンションのアームが曲がってしまいました。5年ほど乗ったこともあり、学生のころから気になっていたジウジアーロードデザインのスバル、アルシオーネSVXにローンを組んで買い替えたのでした。クーペながら四駆で、3.3

リッターの水平対向エンジンで駆動され、安定感もよく、デザインも未来的で気に入っていたのですが、その技術を過信し、購入して半年で、阪神高速でクルマをスピンさせ大破させてしまいました。幸い身体は無傷でしたが、当直に行く途中でしたので、当直先の院長先生には大変なご迷惑をかけしてしまいました。

事故後、弱気になりエンジンパワーは小さく、安全性も高いかと考え、初代のメルセデス、Cクラスワゴンを購入しました。これが失敗で、動きが常に重たく、ボディ剛性が期待していたよりも柔く、走行も安定感がないクルマでした。その頃、医師としても憧れ、尊敬していた先輩のドクターが、黒のキャデラックセビルを購入され、めちゃくちゃカッコ良くて、ずっと気になっておりました。いつか乗りたいなあと思っていたのですが、下っ端の私が乗るのはどうかなと迷っていたのですが、フルモデルチェンジしてしまい、キャデラックなのに右ハンドルだし、デザインもアメリカンぽくなくなってしまうので、少しダサくなったからいいかなと思って買ってしまいました。1999年ごろのことです。全長が5メートル、幅が1.9メートルと当時としては大きなクルマでしたが、とても運転がしやすく乗り心地の良いクルマで、車内はなぜか甘い匂いがして、これがアメリカンということなのだと考えて、気に入りました。

北海道へ国内留学をさせていただいた時も乗っておりました。真冬の転勤でありましたので、私だけ単身で北海道に向かい、初夏になってから、大阪の家財道具を全て処分してもらって、家内と2歳の息子と二人で、敦賀からフェリーに乗ってクルマで引っ越ししてきてもらいました。海が時化て船内は大変だったとの事でした。私がいな期間の生活や引っ越し準備、この移動の苦労にも家内には頭が上がりませんでした。苫小牧港まで

迎えに行って、久しぶりに家族と会えた事はとても嬉しかったです。そして、このクルマでは家族で道内をあちこちドライブしました。どこに行くにも道を知らないので、後付けのアルパインのカーナビがとても優秀で重宝しました。

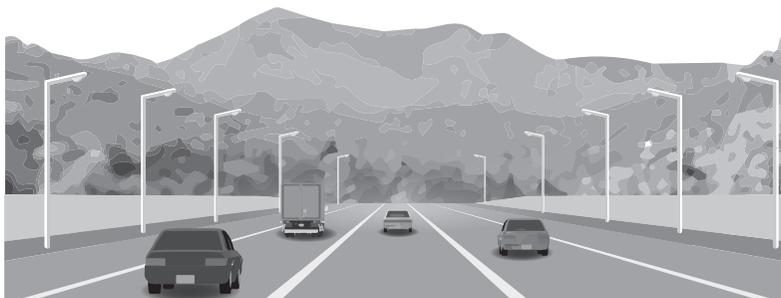
やがて次の冬を迎え、スタッドレスタイヤに変え、ドライブだけでなく、日常生活でも雪道、アイスバーンなど走り回りましたが、全然滑らず安定していて、雪道にもとても強く、運転の自主トレもさんざんやりました。滑らせてやろうと、わざとデタラメな運転をしても全く滑らないすごいクルマでした。

その頃北海道の雪道を走っていて、走る姿がかっこいいなあと思っていたのが、スバルレガシーとアウディだったのですが、その影響を受けて、北海道から関西に戻ってから、アウディS4アバントに替えました。2004年のことです。アウディは軽快感のある見た目と違い、運転するとズシッと重く、上下動が少なく、四駆でビターと安定して走るのですが、雪道で映えるクルマだなあと感じた次第です。スキーなんかで雪山に行くにはよく似合うのではないのでしょうか。

北海道の雪道で、そのタフさを発揮したキャデラックを手放したのを後悔しました。

そして、開業を決めた13年前ごろからは、先行きが不安であったことも影響して、クルマの興味も次第に薄れてしまい、家内の運転するクルマの助手席に乗ってる方が快適に感じるようになってしまいました。クルマはガレージに鎮座し、他のブランドに乗りたいなどの興味も醒めてしまいました。

今までで、一番良かったと思う車は、様々な思い出も詰まっている、キャデラック セビルですが、仕事をリタイヤする頃、所有することや乗ること自体が、趣味と言えるようなクルマに出会えたらなあと思うこの頃です。



# 而今 飲み比べ

宮脇 裕二（昭和55年入局）

前の会報で好評であったので、またお酒の話をします。

日本酒に関して、詳しいウェブサイトとしてSakenomyが非常に有名なのですが、そこで2023年度The Sakenomy Awardが発表されました。その中の銘柄部門で第1位は『十四代』、第2位は『新政』のNo. 6、第3位は同じく『新政』のPrivate Labが選ばれていますが、どの銘柄も入手が極めて困難です。第4位には、入手困難になりつつはありますが、まだ何とか買える『而今』が選ばれています。

今回はこの上半期で購入できた『而今』について、飲み比べてみた結果をお知らせいたします。

『而今』の比較となるお酒として、この上半期で購入できた二つの銘柄、『新政No.6 type S』（写真1）と十四代を作る高木酒造が手掛けた『朝日鷹』（写真2）を『十四代』の代わりとしてコントロールに選びました。いずれも、これまでの淡麗辛口が主流の吟醸酒に甘口の新風を吹き込んだお酒達です。

まず『新政No.6 type S』ですが、ジューシーで少しだけ甘い感じです。生酒なので、開ける時期にもよりますが、一つ上のランクの『type X』

よりもこちら方がいいかもしれません。次に『朝日鷹』ですが、『十四代』に比べるとやや味は雑な気がしますが、ベースは『十四代』です。

『十四代』と言われて出されたたら、分からないかもしれません。

さて、『而今』ですが、この銘柄は三重県名張市にある木屋正酒造（写真3）が手がけたお酒で、而今と言う言葉には、『過去にもとられず、未来にもとられず、今ただ精一杯生きる』という意味が込められています。名張市と言えば赤目四十八滝が有名です。この地にはかつて伊賀忍者の祖、百地丹波の屋敷があり、滝の近くの山林で忍者修行が行われていたそうです。

それでは、今回登場する『而今』たちです。

## 1) 特別純米 無濾過生（写真4）

『而今』の一番の定番酒で、石川県産の五百万石と三重県産山田錦を8：2で使用、これは『十四代』の高木酒造が日本酒造りの黄金比と謳っている手法の比率です。

味は少し甘めでジューシーという感じですか。食事によくあいます。辛党の人は最初引くかもしれませんが、その内に引き込まれていきますね。



写真1



写真2



写真3



写真4

## 2) 特別純米火入れ (写真5)

非常ジューシーでフルーティーな味で、無濾過生よりは酸味はやや弱いと言った所ですが、生酒と言われてもわからないくらいフレッシュな感じがします。『而今』では火入れ技術が卓越している為、火入れ後にも生の風味を失わない不思議なお酒になっています。火入れの方が日持ちするので、買うなら火入れですね。

## 3) 純米吟醸 酒未来生 (写真6)

希少米、酒未来を使用した1本です。酒未来とは『十四代』の高木酒造が作った酒米で、もちろん『十四代』でも使われています。『而今』と『十四代』のコラボかと、買った時は興奮していました。年に一回だけの発売だそうです。味は、文句なしに美味しいです。口当たりはフレッシュですが、キレのある喉越しといったところでしょうか。日持ちのする火入れがあればさらによいですが。

## 4) 純米吟醸 雄町火入れ (写真7)

これは岡山県産雄町を50%まで精米した純米吟醸酒です。お味はといいますと、甘味がありつつも、後で口の中に爽やかなキレ感を感じるお酒です。火入れですが、生酒のフレッシュさは失われていません。

## 5) 純米吟醸 千本錦無濾過生 (写真8)

最後は千本錦無濾過生ですが、ラベルの色が薄いピンク色で、さては女性向きあるいはチェリー

のような甘い味、お花見シーズンを狙ったお酒などいろいろ考えてしまいます。実はこの原稿を書きながら千本錦無濾過生を味わっているところです。味はラベルのようにチェリーを思わせる甘みがありますが、嫌味はなくキレのある感じで締めてくれると思います。

さてさて、『而今』はどれも美味しく、『而今』を選択すれば間違いないと思いますが、あえてこの中で一番を選ぶとすれば、純米吟醸 酒未来生でしょうか。

それでは、『而今』とコントロールとした『No.6』と『朝日 鷹』を比べてみましょう。これらの優劣をつけての比較は極めて困難です。理由はここに登場するお酒はすべて基本的に『十四代』に影響を受けていますので、『十四代』と似た味になっています。あえて言えば、優劣は付けられないので、要はどれが一番好きな酒かという事です。一番口に合うものが一番です。

ここからは完全な私の私見ですが、『十四代』や『新政』は購入が困難で、たとえ買っても、賞味期限ギリギリのものしか手に入りませんので、購入できる現実的な最高峰は『而今』ということになるでしょう。また別の理由から『而今』は名張という伊賀の地の水で作られていることもあるのか、私の中では最高のお酒となっています。

『而今』はスーパーや百貨店で見かけることはありませんが、懐石を出す料理屋で酒のメニューに載っていたら、迷わずにオーダーしてください。



写真5



写真6



写真7



写真8



---

## 編集後記

街中でマスクを外した若者が闊歩するようになり、コロナもやっと落ち着いてきたのかなという感じがしますが、まだ油断大敵です。

さて、今回も多くの投稿をいただき、楽しい会報を作ることができました。巻頭言は増田副会長にお願ひし、その後に総会関係の記事が続きます。コロナのためしばらく行われていなかった家族会が今年は遂に開催されることになり、そのアナウンスを大川担当理事にかいていただきましたので、皆様の奮ってのご参加をよろしくお願ひいたします。

馬野、竹中両先生に最先端と歴史物という非常に興味深い記事をいただきました。西澤、天野先

生においては紀行文、レギュラー執筆陣の阪本、鱧永先生にも、いつものように楽しい内容の記事いただいております。

新規開業された先生方に、恒例により自己紹介記事を書いていただいているのですが、最近投稿が減っています。新規開業でお忙しいの中とは思いますが、市整会メンバーが患者紹介をする際に参考となる資料ですので、是非とも書いていただければと思います。私のところに送っていただければ、次の新年号に掲載いたしますのでよろしくお願ひいたします。

広報 宮脇裕二